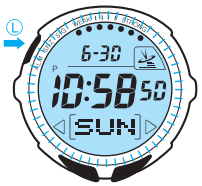
ライト点灯について

どのモード（メニュー表示を含む）のときでも、Ⓛボタンを押すと約 1.5 秒間文字板が発光します。
➡暗いところでも表示を見ることができます。



ご注意
- ●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中断します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

※機種により形状は異なります。
※表示例はモジュール 2605 を使用しています（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）。

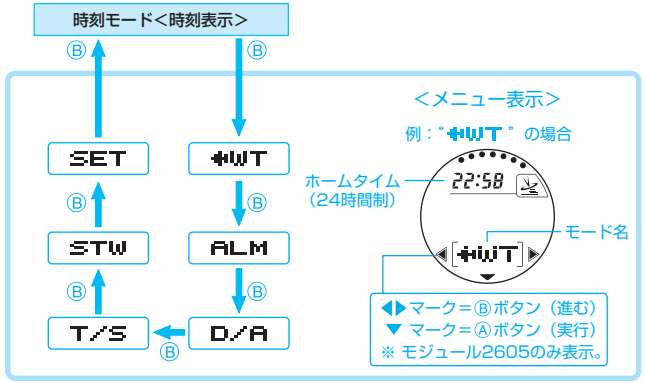
時刻モード

<時刻表示>

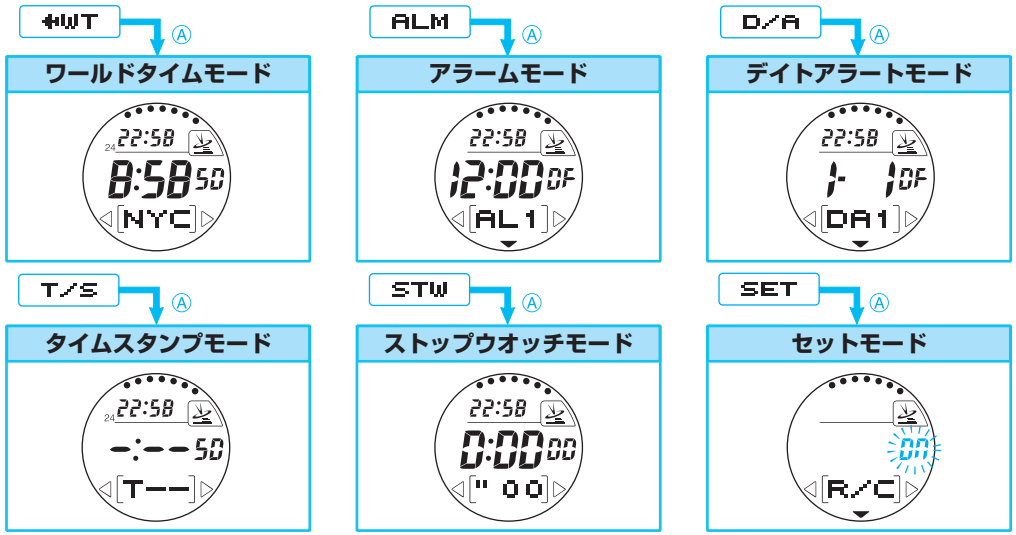


●曜日の見方
SUN：日 MON：月 TUE：火 WED：水
THU：木 FRI：金 SAT：土

●モード切替について
(1)時刻表示のとき、Ⓑボタンを押すとメニュー表示に切り替わります。
※メニュー表示のまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。



(2)モード名を選んでからⒶボタンを押すと、選択したモードに切り替わります。
※他のモードに切り替えてから再びメニュー表示に戻すには、Ⓐボタンを押します（押す回数はモードにより異なりますので、詳しくは各項目をご覧ください）。

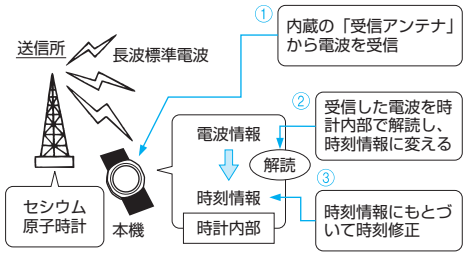


※デイトアラートモードのまま２～３分すると、自動的に時刻表示に戻ります。
※時刻表示以外では、現在時刻（ホームタイム）は常に 24 時間制で表示されます。

電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

●日本の標準電波（JJY）は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。

●アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州のFort Collinsから送信されています。

この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。

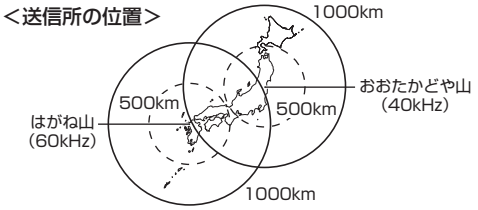
■ 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波（JJY）またはアメリカの標準電波（WWVB）を受信することができます。（ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります）

＊ ホームタイム都市の設定については「■セットのしかた」参照。

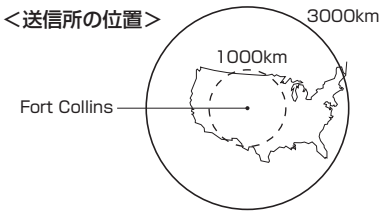
ホームタイム都市	受信電波
TYO	「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」または「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波を受信します。
LAX、DEN、CHI、NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

＜送信所の位置＞



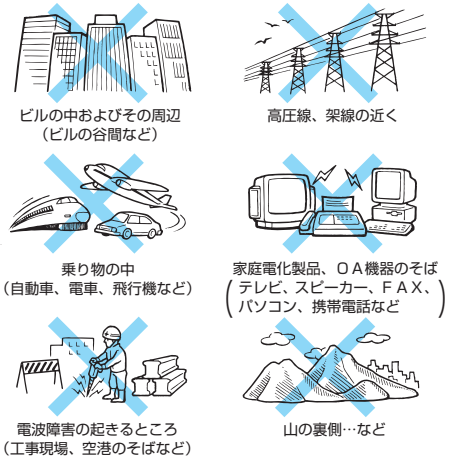
●条件の良いときは、送信所からおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約1,000kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼･夜）などによって受信できないことがあります。
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

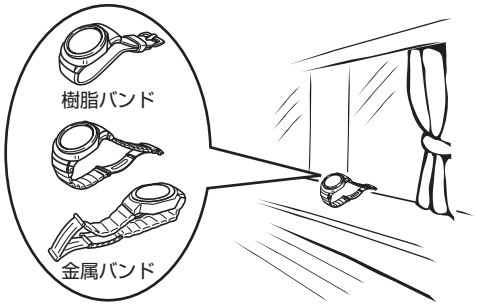
■ 受信方法について

受信方法には、以下の２種類があります。
1 自動受信（午前２・４・６時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。



●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は？

受信時間はおよそ２～６分です。

※ただし、受信電波の設定で「A/T（自動選局）」を選んでいるときは、周波数を選択するため、最大12分かかる場合があります。

＊ 受信電波の設定については「■受信電波を選ぶ」参照。

●手動受信

時刻表示のとき

Ⓐ ボタンを約２秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、受信を開始します。
受信中は受信マーク“”と受信インジケーターが変化します。

★受信を中止するときは

Ⓐ ボタンを押します

※受信中は Ⓐ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、確認音の報音とともに修正日時を表示します。

※受信マーク “” と受信インジケーターが点灯します。

★受信が失敗すると

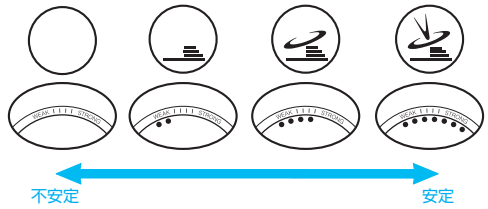
時刻修正は行なわれず、“ERR”を表示します。

※何も操作をしないと、１～２分後時刻表示に戻ります。

●受信マークと受信インジケーター

受信中は受信状態によって受信マークと受信インジケーターが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約１０秒ほどかかります。

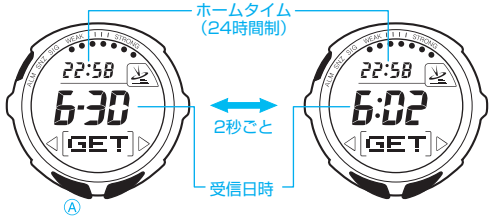
●受信マークと受信インジケーターは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻表示のとき

Ⓐ ボタンを押します

➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※月日と時分は２秒ごとに切り替わって表示されます。
※時刻表示に戻すには、もう一度 Ⓐ ボタンを押します。
※何も操作をしないと、１～２分後時刻表示に戻ります。



■ご注意■

●本機は「時･分･秒」と「年･月･日」の情報を受信しますが、電波状況により「時･分･秒」のみ受信する場合があります。

●“⊻”マークは「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時・分・秒」のみ受信したときは点灯しません。

「時・分・秒」「年・月・日」を受信	⊻ 点灯する
「時・分・秒」のみ受信	⊻ 点灯しない

●「時･分･秒」のみ受信した場合、受信日時の確認で表示される月日は、受信時に時刻表示で表示していた月日となります。

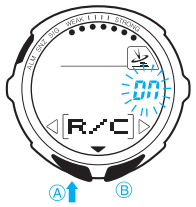
■自動受信の ON/OFF 設定

1. セットモードにする

時刻表示のとき

Ⓑ ボタンを６回押して“SET”表示にしてから、Ⓐボタンを押します

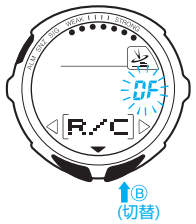
➡“On”または“OF”が点滅します。



2. ON/OFF を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに自動受信の ON/OFF が切り替わります。



●On 自動受信は ON になります。
●OF 自動受信は OFF になります。

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを 11 回押します

➡点滅が止まり、“SET”表示になります。時刻表示に戻すには、“SET”表示のときⒷボタンを１回押します。
※ 点滅表示のまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

■受信電波を選ぶ

ホームタイム都市を TYO（東京）に設定しているときは、受信する電波を選ぶことができます。

* ホームタイム都市の設定については「■セットのしかた」参照。

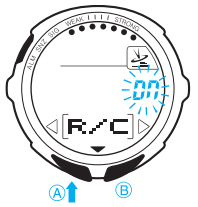
※工場出荷時には、「ホームタイム都市＝TYO（東京）、受信電波＝A/T（自動選局）」でセットされています。

1. セットモードにする

時刻表示のとき

Ⓑ ボタンを６回押して“SET”表示にしてから、Ⓐボタンを押します

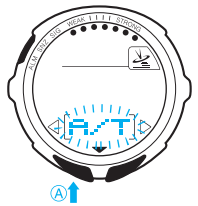
➡“On”または“OF”が点滅します。



2.「受信電波設定」にする

Ⓐ ボタンを押します

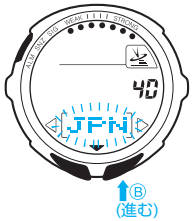
➡受信電波の設定になります。



3. 受信する電波を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押して、受信する電波を選びます。



●A/T 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。 ※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
●JPN　40 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」からの電波のみ受信します。
●JPN　60 「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のみ受信します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを 10 回押します

➡点滅が止まり、“SET”表示になります。時刻表示に戻すには、“SET”表示のときⒷボタンを1回押します。
※ 点滅表示のまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻表示とワールドタイムモードでのみ行なわれます。

●自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。

●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。

●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。

●本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

●電波受信を行なわないときは、平均月差±15秒以内の精度範囲で動きます。

●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。

●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。

●本機のカレンダー機能は2039年までですので、2040年以降は受信してもエラーとなります。

■こんなときには

手動受信ができない

原因：・時刻表示以外のときは、手動受信はできません。
・ホームタイム都市が TYO、NYC、CHI、DEN、LAX 以外のときは、手動受信はできません。

処置：・手動受信は時刻表示で行なってください。
・ホームタイム都市が TYO、NYC、CHI、DEN、LAX のとき、手動受信を行なうことができます。「■セットのしかた」からの設定をご覧になり、ホームタイム都市を合わせてください。

「自動受信ON」に設定しているのに“⊻”マークが消えている

原因：・“⊻”マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。
・一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません（毎日午前３時に消えます）。
・“⊻”マークは「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時・分・秒」のみ受信したときは点灯しません。
・自動受信のとき、時刻表示またはワールドタイムモード以外のモードになっていた。

処置：・電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
・「受信成功」しやすい環境で使用してください。
・自動受信を行なうときは、時刻表示またはワールドタイムモードにしておいてください。
・手動で時刻修正をすると、“⊻”マークは消えます。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：・サマータイムが ON になっているか、ホームタイム都市設定を間違えていませんか。

処置：・１時間進んでいるとき（DST マーク点灯）はサマータイムが ON になっています。また、大きく違っているときはホームタイム都市を間違えています。
「■セットのしかた」からの設定をご覧になり、正しく合わせてください。

●電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。
※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

自動受信	R/C ON	自動受信ON
受信電波	A/T	日本の標準電波（40kHz/60kHz）を自動選局
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	DST	電波受信による自動切替

ワールドタイムの使い方

"WT" 表示のとき、Ⓐ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ワールドタイムは常に24時間制で表示されます。

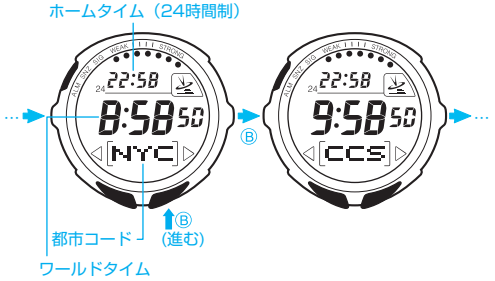
ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻表示の時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。
* セットについては「■セットのしかた」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。
※押し続けると早送りします。



※Ⓐ ボタンを押すと、"WT" 表示になります。時刻表示に戻すには、"WT" 表示のとき Ⓑ ボタンを6回押します。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
–––	–11		JRS	+2	エルサレム
HNL	–10	ホノルル	JED	+3	ジェッダ
ANC	–9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
LAX	–8	ロサンゼルス	DXB	+4	ドバイ
DEN	–7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
CHI	–6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
NYC	–5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	–4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
RIO	–3	リオデジャネイロ	RGN	+6.5	ヤンゴン
–––	–2		BKK	+7	バンコク
–––	–1		HKG	+8	香港
GMT	+0	＜グリニッジ標準時＞	SEL	+9	ソウル
LON	+0	ロンドン	TYO	+9	東京
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2002年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

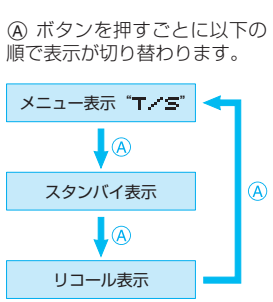
タイムスタンプ機能の使い方

"T/S" 表示のとき、Ⓐ ボタンを押して、タイムスタンプモードにします。

タイムスタンプモードでは、時刻データ（時・分・秒）を最大50件まで記憶できます。時刻データは記憶した順に見ることができますので、時刻を覚えておくときに大変便利です。
※タイムスタンプモードに切り替えると、スタンバイ表示になります。
※記憶した時刻データは常に24時間制で表示されます。

■表示切替について

Ⓐ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。







※時刻データを1件も記憶していないときはリコール表示に切り替わりません。
※時刻表示に戻すには、"T/S" 表示のときⒷボタンを3回押します。

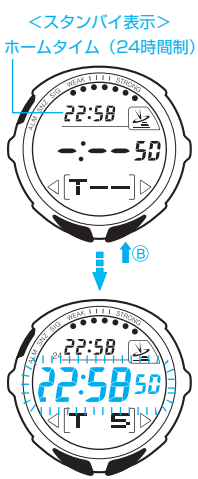
■時刻データを記憶させる

スタンバイ表示のとき

Ⓑ ボタンを押します

➡表示が点滅して、Ⓑ ボタンを押したときの時刻データ（時・分・秒）を記憶します。
※表示点滅後、スタンバイ表示に戻ります。
※最大50件まで記憶できます。

★データ自動入れ替え
記憶件数が50件を越えると、一番古いデータ（データ1）が消去され、以後、順番に番号が繰り上がって最新データが記憶されます。



■時刻データを見る

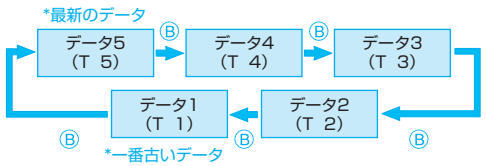
リコール表示のとき

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに最新のデータから順番に表示していきます。
※押し続けると早送りします。



例）時刻データを5件記憶したとき



■時刻データを消去する

リコール表示のとき

Ⓑ ボタンを押しながらⓁ ボタンを押します

➡"CLR" 表示後、記憶したすべての時刻データが消去されます。
※時刻データ消去後、スタンバイ表示に戻ります。
※特定の時刻データのみ消去することはできません。



アラーム・時報の使い方

"ALM" 表示のとき、Ⓐ ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームの使い方

●アラームの種類

本機には、５本のアラームがあり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。
（通常アラーム３本／タイマー付きアラーム１本／スヌーズアラーム１本）

●通常アラーム（AL1～AL3） セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。
●タイマー付きアラーム（TAL） セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。 ※セットした時刻までの残り時間を表示します。
●スヌーズアラーム（SNZ） セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴り、5分おきに合計７回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

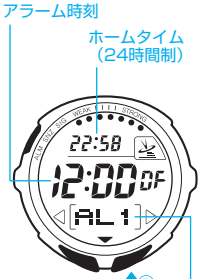
●アラーム時刻や残り時間を見る

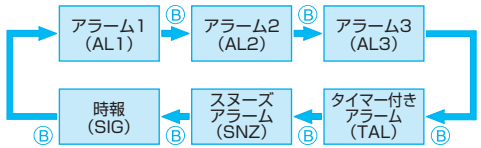
アラームモードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

※アラームが OFF のときと時報表示のときは Ⓐ ボタンを２回、アラームが ON のときは Ⓐ ボタンを４回押すと、"ALM" 表示になります。時刻表示に戻すには、"ALM" 表示のとき Ⓑ ボタンを５回押します。





★残り時間表示について

タイマー付きアラーム（TAL）では、アラームをONにすると、アラーム時刻を表示後、セットした時刻までの残り時間を表示します。



●アラームのセット／アラームのON/OFF設定

1. セットしたいアラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押して、セットしたいアラームを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを押します

➡"On" または "OF" が点滅します。



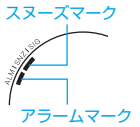
3. ON/OFF を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとにアラームの ON/OFF が切り替わります。



●On
アラームは ON になります。
※アラームマークが点灯します。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。
※セットした時刻になると電子音が鳴ります。



●OF
アラームは OFF になります。

4. 切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡アラームが ON のときは、「時」が点滅します。

➡アラームがOFFのときは、点滅が止まり、"ALM" 表示になります。



5.「時」をセットする

Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制（24）にご注意ください。

※ 時刻表示を24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

6.「分」をセットする

Ⓐ ボタンを押します



➡「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に Ⓑ ボタンでセットします。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、"ALM" 表示になります。時刻表示に戻すには、"ALM" 表示のとき Ⓑ ボタンを５回押します。

※ 点滅表示のまま２～３分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※「●アラームのセット／アラームのON/OFF設定」の手順でアラームマークとスヌーズマークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

■ ご注意 ■

スヌーズマーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

（・時刻モードでセット状態に入ったとき。
・アラームモード（スヌーズアラーム）でセット状態に入ったとき。）

●モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓑ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■ 時報の使い方

●時報について

毎正時（00 分）に "ピッピッ" と電子音を鳴らすことができます。

●時報の ON/OFF 設定

1. 時報表示を選ぶ

アラームモードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを押します

➡"On" または "OF" が点滅します。



3.ON/OFF を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに時報の ON/OFF が切り替わります。



●On
時報は ON になります。
※時報マークが点灯します。
※毎正時（00 分）に電子音が鳴ります。



●OF
時報は OFF になります。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、"ALM" 表示になります。時刻表示に戻すには、"ALM" 表示のとき Ⓑ ボタンを５回押します。

※ 点滅表示のまま２～３分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

デイトアラート機能の使い方

"D/A"表示のとき、Ⓐボタンを押して、デイトアラートモードにします。

デイトアラートモードでは、誕生日や記念日などの月日を5本セットでき、設定した月日になると表示が点滅して知らせてくれます。
※デイトアラートモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

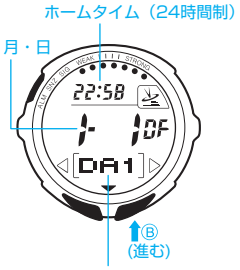
■ データを見る

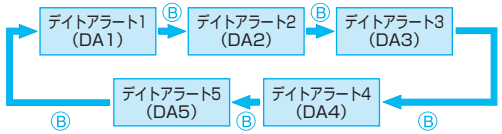
デイトアラートモードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

※ デイトアラート機能がOFFのときはⒶボタンを2回、デイトアラート機能がONのときはⒶボタンを4回押すと、"D/A"表示になります。時刻表示に戻すには、"D/A"表示のときⒷボタンを4回押します。





■ デイトアラートのセット／デイトアラート機能のON/OFF設定

1. セットしたい表示を選ぶ

デイトアラートモードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押して、セットしたい表示を選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを押します

➡"On"または"OF"が点滅します。



3. ON/OFF を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとにデイトアラート機能の ON/OFF が切り替わります。



● On
デイトアラート機能は ON になります。
※設定した月日になると表示が点滅します。

● OF
デイトアラート機能は OFF になります。

4. 切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡デイトアラート機能がONのときは、「月」が点滅します。

➡デイトアラート機能がOFFのときは、点滅が止まり、"D/A"表示になります。



5. 「月」をセットする

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。



6. 「日」をセットする

Ⓐ ボタンを押します

➡「日」が点滅します。「日」も「月」と同様にⒷボタンでセットします。



7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、"D/A"表示になります。時刻表示に戻すには、"D/A"表示のときⒷボタンを4回押します。

※ 点滅表示のまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

■ 設定した月日になると

デイトアラート機能がONで、時刻表示のカレンダーと設定した月日が一致すると、表示が点滅して知らせてくれます。

※表示点滅は時刻表示のとき行ないます。
※日付が変わるまで点滅し続けます。
※「■デイトアラートのセット／デイトアラート機能のON/OFF 設定」の手順でデイトアラート機能を OFF にすると、点滅が止まります。



<時刻表示>

ストップウオッチの使い方

"STW"表示のとき、Ⓐボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

※ Ⓐボタンを押すと、"STW"表示になります。時刻表示に戻すには、"STW"表示のときⒷボタンを2回押します。



●通常計測



スタート　ストップ　リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓑ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●計測終了後Ⓑ ボタンを約 2 秒間押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。

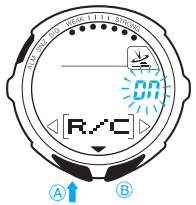
■セットのしかた

1. セットモードにする

時刻表示のとき

Ⓑ ボタンを６回押して“SET”表示にしてから、Ⓐボタンを押します

➡“On”または“OF”が点滅します。



2. 「ホームタイム都市設定」にする

Ⓐボタンを2回押します

➡「都市コード」が点滅します。



3. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。

※ 押し続けると早送りします。

* 都市コード一覧については「■都市コード一覧」参照。



4. 「サマータイム切替」にする

Ⓐ ボタンを押します

➡サマータイムの切り替えになります。



* サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から１時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

5. ON/OFF を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとにサマータイムのON/OFFが切り替わります。

●OF サマータイムは OFF になります（通常時間）。
●On サマータイムは ON になります（夏時間）。 ※DST マークが点灯して、通常の時刻より１時間進みます。
●A（AUTO） 電波受信により、自動的にサマータイムのON/OFFが切り替わります。 ※ホームタイム都市が TYO のときは日本のサマータイム情報に、NYC、CHI、DEN、LAX のときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。 * アメリカのサマータイム期間＝４月の第１週日曜日の AM2:00～10月の最終日曜日の AM1:00

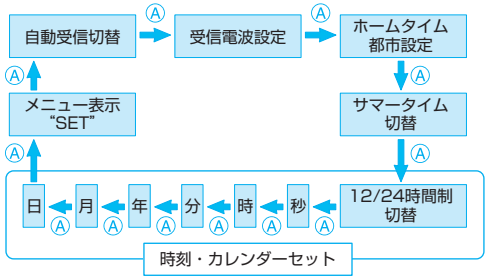
※ホームタイム都市がHKG、TYO、SEL、NYC、CHI、DEN、LAX、ANC、HNL以外のときは、「OF」⇔「On」で表示が切り替わります。

6. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓐ ボタンを押します**

➡Ⓐ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. **Ⓑ ボタンを押します**

➡Ⓑ ボタンで点滅箇所をセットします。

★「12/24 時間制切替」のときは…

Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



★「秒」セットのときは…

Ⓑ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

※秒が００～２９のときは切り捨てられ、３０～５９のときは１分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス１１７番」が便利です）



★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制（24）にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡「日」が点滅しているときにⒶ ボタンを押すと、点滅が止まり、“SET”表示になります。時刻表示に戻すには、“SET”表示のときⒷボタンを１回押します。

※ 点滅表示のまま２～３分すると、自動的に時刻表示に戻ります。